

光陰矢のごとし

会長 森 孝晴

日本の新政権もオバマ政権もなかなか思うように行かず、支持率も下がりつつあるようです。何事もうまく進めるというのは難しいことなのですね。でも、国民というのは性急に結果を求めるものですね。かく言う私も学齢期の子供を抱える身として一刻も早い景気の回復を祈る一人ですが、今年こそ少しでも前進があるように期待したいものです。我がジャック・ロンドン協会も着実な一步を記すべく歩みたいと思います。本年もよろしくご協力ください。

辻井名誉会長が今年三月をもって立命館大学を退職され名誉教授とされます。長年の大学へのご貢献と我が協会への多大なるご尽力に対し、改めて敬意を表したいと存じます。もちろん今後ともお力添えをいただきますが、これからは少しずつご心配をおかけしないようにしていかなければと考えています。

しかし、辻井先生がもうご退職なのだと思った時、**17**年という年月の過ぎる速さを今更ながら感じます。先生に初めて直接お会いしたのは上野駅でした。ほんの**30**分ほどの会見だったと記憶していますが、これが協会設立のきっかけだったのですから面白いものです。出会いの大切さを教えてくれるエピソードですね。ただ、一方で先生のご退職は、**10**歳違いの私にとって自身の退職も決して遠い未来の話ではないことも思い知らせてくれます。在職中に辻井先生の業績に一步でも近づけるよう精進しなければなりませんね。

今年の第**18**回年次大会は名古屋で開催する予定です。詳しくは改めてご連絡しますが、全国からおいでになるには便利な所だと思いますので、どうぞお誘い合わせのうえご参加ください。名古屋でお会いできるのを楽しみにしております。

本年は支部読書会で『赤死病』を読んでいます。ロンドンがこの作品の舞台とした年まであと**3**年です。世の中がだんだんわかりにくくなり、天候も不順で温暖化も止まらない今、ロンドンの警告はますます現実味を帯び重要性を増していると思います。すべての会員さんがこの作品を読んでもくださることを期待したいと思います。

(2010/02/1)